

Kiryuism



桐生市議会議員 久保田ゆういち 市政レポート Vol.5

久保田 裕一
(くぼた ゆういち)



群馬県桐生市新里町在住。前橋工科大卒。中学生のときにまちづくりに関わる仕事に興味を持ち、高校で土木、大学では都市交通政策を学ぶ。大学卒業後、群馬県内の若手有志と共に市民団体「ACEぐんま」を結成し、2011年に桐生市の活性化を目指した活動をスタートさせる。2014年4月、インターネットに向けてテレビ放送を行う市民放送局「まちなかテレビ」を設立。代表を務める。2015年4月、桐生市議会議員選挙に出馬し、当選。現在二期目、総務委員長を勤めている。

その他の活動：新里文化財保護協会理事、桐生市消防団新里方面団第4分団 団員、新里漁友会、など

一番身近な市議会議員を目指します!

桐生市議会議員
総務委員会 委員長
生年月日：1985年3月1日 36歳

久保田ゆういち 公式HP	http://kubotayuichi.com/	Facebook	Twitter	Instagram
連絡先	TEL.090-9320-7583 (携帯・直通) Mail : mail@kubotayuichi.com			
事務所	桐生市新里町新川 (令和3年開設予定)			
自宅	桐生市新里町山上85-6			

新型コロナウイルスワクチン接種について

桐生市版

現在、桐生市では新型コロナウイルスワクチンの接種の準備作業を進めています。ここでは、桐生市より発表されている範囲での情報(3月22日現在)を記載させていただきます。最新情報は桐生市のホームページにてご確認ください。

接種券の発送

※4月23日までは、65歳以上の桐生市民全員に接種券が届く予定です。

- 75歳以上 4月12日からの週に接種券を発送
- 65～74歳 4月19日からの週に接種券を発送
- 64歳以下 未定

発送内容

- ・クーポン券(接種券)
- ・接種案内チラシ
- ・予診票(2枚)
- ・ワクチン説明書

今後の接種開始予定

- ・4月19日の週から、介護老人保健施設の入所者を対象に接種を開始します。
- ・4月26日の週から、集団接種・個別接種を開始します。

集団接種会場

総合福祉センター、新里保健センター、黒保根保健センター(新里・黒保根は日を限り実施予定)

予約受付開始予定

- ・4月19日の週から、75歳以上を対象とした予約受付を開始します。
- ・65～74歳は、ワクチンの供給状況を考慮し調整予定で、決定次第公表します。

桐生市の協力医療機関

- ・桐生市医師会の全面的協力により、50以上の医療機関が協力医療機関として参加予定です。
- ・通常診療に影響が出ないよう、通常診療を優先しながら、個別接種に協力いただける体制を医師会と調整中です。
- ・対象医療機関の確認方法などは決定次第公表します。

問い合わせ

集団接種の予約・協力医療機関の確認は、**桐生市予約受付センター(コールセンター)**にお問い合わせください。

電話番号 **0277-44-8212**

受付時間：午前9時～午後5時 休業日：土曜日、日曜日、祝日、年末年始

その他、接種による副反応の心配など、医学的知見を要する専門的な問い合わせについては、「**ぐんまコロナワクチンダイヤル**」にお問い合わせください。

電話番号 **0570-783-910**

受付時間：24時間 休業日：なし(土曜日・日曜日・祝日も実施)

新型コロナウイルスワクチン接種の最新情報は桐生市のHPをご確認ください。

桐生市

検索

桐生市HP



皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

猛威を振るう新型コロナウイルス感染症対策におきましては、営業時間の短縮やイベントの自粛、基本的な感染対策の実施など、市民の皆様様に様々な形でご協力いただいておりますことに心より感謝申し上げます。

また、感染症の拡大防止に向けて、最前線でご尽力をいただいております医療関係者の皆様や介護関係者の皆様、生活に欠かせないライフラインを守っていただいている商業関係者の皆様やサービス業・運送業の皆様、子ども達を支えていただいている保育・教育関係者の皆様、そして様々な面で感染症拡大防止に取り組んでいただいている全ての皆様に重ねて感謝申し上げます。皆様のご協力のお陰を持ちまして、桐生市については3月23日より「社会経済活動再開に向けたガイドライン(改訂版)」に基づく警戒度が「2」に引き下げとなることと決定しました。しかしながら、依然として変異株の感染拡大なども危惧されており、直ちに通常の生活に戻ることは難しい状況と言えます。

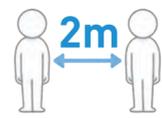
日常を取り戻していく上におきましても「新しい生活様式」を身に付けながら、少しずつ歩みを進めていく必要があります。今回、市政報告書には桐生市における新型コロナウイルスのワクチン接種に関する情報も掲載させていただきました。皆様にとってこの困難を乗り越えていくための一助となれば幸いです。不明点等ございましたら、何なりとご相談ください。



「感染防止の3つの基本」を実践しましょう。

① 身体的距離の確保

- ・人との間隔は2m空ける。
- ・遊びに行くなら屋外を選ぶ。
- ・会話は真正面を避ける。



③ 手洗い

- ・帰宅時にまず手や顔を洗う。
- ・帰宅後すぐに着替えとシャワー。
- ・手洗いは水と石けんで丁寧に。



② マスクの着用

- ・外出時は屋内でもマスクを着用。
- ・会話をするときはマスクを着用。



今回、メインで参加してくれた大学1年生(法学部)の加藤さんに、インターンを終えてのインタビューをさせていただきましたのでご紹介いたします。

【議員インターンについて】

久保田：今回、議員インターンを知ったきっかけと、参加した動機はなんですか？

加藤：私は大学でドットジェイピーのスタッフの方に議員インターンに誘っていただき、参加しました。コロナウイルスで思うような生活ができなかった1年だったので、出来ることに挑戦してみようと思い、参加しました。

久保田：議員インターンへの参加にあたって不安などはありませんでしたか？

加藤：議員インターンは最初は何をするかもわからず、議員の方ともうまくやれるかどうかもわからなかったので不安もありましたが、スタッフの方に丁寧に教えていただきました。

久保田：参加する前後で議員に対するイメージに変化はありましたか？

加藤：インターンに参加する前は議員というのは議会に出るものだと思っていたのですが、実際には議会だけでなく、さまざまな活動を行っており、イメージがとても変わりました。

久保田：議員インターンを通じての発見があったら教えてください。

加藤：議員インターンを通じて私は、私の住んでいる地域のことをあまり知らないかと再認識されました。久保田議員に市の施設や史跡などについて説明していただく際に、市議会議員というのは地元のことにとても詳しくいる必要があるのだと感じました。これを機に私の住んでいる高崎市についてよく調べてみようと思いました。

【桐生市の印象について】

久保田：これまで桐生市に来たことはありますか？

加藤：桐生市には群馬昆虫の森に行ったことがあるくらいで、今まであまり来たことがない地域でした。

久保田：議員インターンに参加して桐生市の印象は変わりましたか？

加藤：桐生は、上毛かるたでも「桐生は日本の機どころ」といったように、織物が有名な地域だという認識でしたが、織物にもさまざまな歴史があり、私も初めて聞くことばかりで驚きました。織物以外にも、桐生の方には優しく接していただき、とても温かみのある地域だと感じました。

久保田：新里町でのフィールドワークも行いましたが、印象に残った場所や、新里町に対してどんな印象を持ちましたか？

加藤：新里のフィールドワークではいろいろなところに連れて行っていただきましたが「Kimono Factory」にいらさが特に印象的でした。実際に着物を着せていただいたとても貴重な機会でした。昼食に弁慶で食べたソースカツ丼の量がすごく多かったのもとても印象に残っています。美味しかったです。新里町はとてもコンパクトな町で、町の機能がまとまっていると感じました。また、小さい地区でありながらも、カリビアンビーチや昆虫の森などの観光施設を有しており、とても魅力のある地域だと感じました。

【今後に向けて】

久保田：間もなく2か月間のインターンが終了しますが、議員インターンを通じて感じたこと、今後にかしたいことなどがあれば教えてください。

加藤：2か月のインターン期間はあっという間でした。議員インターンは私にとってとても有意義な体験でした。普段はできない体験をたくさんさせていただいて、やはり自分が住む地域についてよく知ってみようと感じました。桐生市についてよく学び、桐生の今まで知らなかった歴史、文化などの魅力を発見することができた議員インターンでしたが、自分が住んでいる高崎市についてもよく調べてみようと思いました。私が住んでいる地域にもまだ私の知らない魅力があるのではないかと感じることができた議員インターンになりました。とても貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

インターン生2名を受け入れました

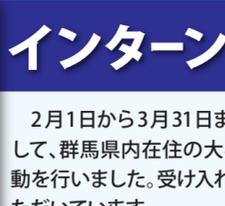
2月1日から3月31日まで、私個人の議員活動に帯同する「議員インターン」として、群馬県内在住の大学一年生2名(内1名はサポート参加)が2か月間の活動を行いました。受け入れに当たってはNPO法人ドットジェイピーのご協力をいただいています。

「議員インターン」とは大学生が長期休暇の2か月間、議員と行動を共にする事により、仕事に対する姿勢や思い、政治と社会のつながりを知る体験学習プログラムです。インターン生が社会に対する知識を養い、社会へ貢献する意識を高める事を目的としています。私としても若者の意見を市政に反映し、若年投票率の向上や若者の地域活動への参加に対しての知見や課題整理の機会として、たいへん有意義な時間を過ごさせていただきました。

今回のインターンに参加した学生の皆さんにとって、将来の選択肢を広げ、社会に対する視野を広げる機会となっていれば幸いです。期間中、ご協力いただきました皆様にご心より感謝申し上げます。



小林さん



加藤さん



2月4日 まちなかテレビに出演(アンカンミンカンのお二人と)



2月9日 会派そうぞう未来との意見交換会



2月11日 吾妻山登山(ミネマラソン参加)



2月20日 FM桐生出演



2月23日 新里町内フィールドワーク



3月9日 研修会参加(カードゲーム「2030 SDGs」を体験)



3月11日 射撃研修会見学



3月12日 桐生生の新本庁舎への提案発表を見学



3月20日 森エンジニアリング桐生スタジアム竣工式

提案から実現へ！ 議会での提案が一步步形に。

新里町に地域おこし協力隊の導入が決定

地域おこし協力隊とは、地方自治体が大都市圏等より人材を受入れ、1~3年の間、地域おこしの支援や農林業の応援などの活動に従事してもらいながら、隊員の定住や起業を促す取り組みです。桐生市では現在、旧桐生市及び黒保根地域で6名の隊員が活躍しており、新里町への導入について、一般質問などの機会を通じて提案をしてきました。その結果、新里町への地域おこし協力隊の導入が決定し、4月より活動してくれる隊員を募集しています。農業振興業務や農産物の6次産業化、新たな販路の開拓などにより、新里町の活性化が図られていくことを期待しています。

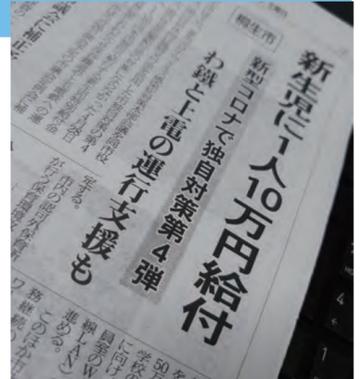


新里地区産業祭の様子

新生児への特別給付金(10万円)が実現

桐生市では国の臨時給付金を活用した独自施策として、国の特別定額給付金(10万円)の対象に含まなかった新生児に対しても10万円を給付する「新型コロナウイルス対策新生児特別給付金」を実施しています。特別定額給付金では対象者は基準日となる令和2年4月27日に住民基本台帳に登録されている方となっており、4月28日以降にお生まれになった新生児は対象となっていませんでした。私は令和2年6月議会の一般質問の中で、産まれたばかりの赤ちゃんは経済的にも一番負担のかかる時期であることから、定額給付金の給付期間中に産まれた新生児に対しましても相当額(10万円)を給付すべきと提案をさせていただきました。

その結果、令和2年4月28日から12月31日までに生まれた子どもへの特別給付金を実現しました。令和3年3月議会では、年度末となる令和3年3月31日までに生まれた子どもまで対象を拡大することが決定しています。申請方法等、詳しくは桐生市のHPよりご確認ください。



新生児への給付金を報じる新聞記事

新里町デマンドタクシーの発着点が増加

地域住民からのご意見を受け、新里町デマンドタクシーの新里町外への発着点の追加や、運行タクシーの増車を一般質問などの機会を通じて訴えて参りました。その結果、令和3年2月1日よりの乗降場所が追加され、大間々駅と赤城駅までの利用が可能となりました。なお、赤城駅を乗降場所とする場合には通常の2倍の料金(600円)がかかります。今後、桐生厚生総合病院などへの乗り入れ拡大や、予約が取りやすくするための更なる増車に向けて、引き続き利便性向上を訴えて参ります。



桐生市HPより

各事業の最新情報は桐生市HPをご確認ください。

桐生市

検索

桐生市HP



いま、できることを全力で!

荒木市長に予算要望書を提出しました

令和3年度予算の編成に向けた要望書を、所属する会派「そうぞう未来」としてとりまとめ、昨年10月29日に荒木市長へ提出させていただきました。要望内容は会派所属の議員が持ち寄った政策課題を集約したもので、行財政運営、産業振興、都市基盤整備、生活環境整備、医療、福祉、教育、文化など多岐の分野にわたり、全67項目に及ぶ詳細な事柄を記載させていただきました。なお、会派「そうぞう未来」は6名で構成する市議会 第二会派であり、私が会長の役目を仰せつかっております。各要望事項の実現に向けて会派を挙げて取り組みを進めて参ります。



提出時の様子

全国若手市議会議員の会 災害公衆衛生対策研究部会 副会長に就任

昨年8月に開催された全国若手市議会議員の会 総会(オンライン開催)において、災害公衆衛生対策研究部会 副会長に就任いたしました。この会は25歳から45歳までの超党派議員の有志の会で、全国約500名の仲間と政策研修や情報交換等を行っています。今回役にいただいた「災害」と「公衆衛生」の分野は現在最も重点を置くべき政策課題であり、コロナ禍での避難所等における衛生状態確保など複合的な視点も求められています。コロナ禍でありますので実際に集まるとの研修や現地調査などは難しいかと思われませんが、リモートなども活用しながら全国の先進事例を収集する中で、少しでも地元を持ち帰ることができる知見を見つけていけるよう取り組んで参ります。



オンラインでの総会の様子

山本知事との意見交換を行いました

昨年8月18日に、関東若手市議会議員の会 群馬ブロックの代表者5名で、山本一太 群馬県知事を表敬訪問させていただきました。訪問の目的はコロナ禍における政策等について意見交換を行うためとなります。表敬訪問の中では、新型コロナウイルス感染者の情報開示の範囲についてや、「愛郷くんまプロジェクト」の成果、「ストップコロナ! 対策店認定制度」についてなど、経済への影響を抑えながら感染症対策をしていくための具体的な施策について意見交換をさせていただき、今後の県市での情報連携の強化についても前向きな議論をすることができました。



群馬県庁にて山本知事と意見交換

久保田ゆういちの活動紹介



子どもの事故予防地方議員連盟のリモート会議



下新田駅イルミネーション設置作業



ピリオバトルに出場



市民映画の撮影に参加



議長記者会見に総務委員長として登壇



除草ボランティア作業



桐生市議会 きもの議会にて



前橋市との赤城山観光の連携強化へ! 赤城大沼バーチャルドライブに参加



新型の低速電動バスに試乗

徹底現場主義!

あなたの声をお聞かせください

TEL.090-9320-7583(携帯・直通)

Mail: mail@kubotayuichi.com

